

平成28年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告
認知症カフェ図書館 (10月10日)

【開催日時】平成28年10月10日(月) 13:00~17:00

【開催場所】13:00~15:00 ユメニティのおがた 会議室1・2 (直方市津田町7-20)
15:00~17:00 直方市立図書館内、対面朗読室

【内容】世界アルツハイマーデー協賛イベント
図書館から広がる! つながる! 認知症カフェ図書館

【主催】認知症サポーターを広める会・直方市地域包括支援センター・直方市立図書館

【協力団体】福岡県認知症医療センター直方中村病院・直方鞍手医師会・直方歯科医師会
直方歯科医師会連携室・直方鞍手薬剤師会

9月19日(月)~10月16日(日)の期間、認知症カフェ図書館が開設(経緯等は前回の報告『認知症カフェ図書館(9月19日)』を参照願います)されています。今回は、前回同様に講師依頼がありました。当日は、以下のスケジュールで開催されました。(今回、写真はありません)

- 13:00~14:00 ・開会のことば
・認知症サポーターを広める会より挨拶
・認知症サポーター養成講座 (キャラバンメイト 宮坂 氏)
- 14:00~14:35 ・講義「認知症と福岡県認知症医療センター」
(講師:福岡県認知症医療センター直方中村病院 葉室 精神保健福祉士)
- 14:35~14:50 ・質疑応答
- 15:00~17:00 ①タッチパネル認知症簡易検査 ②専門職の相談窓口
担当専門職 直方鞍手薬剤師会 薬剤師
福岡県認知症医療センター直方中村病院 葉室 精神保健福祉士

今回、三連休の最終日で天候も良く行楽日和でした。また、保育園の運動会が地域によっては開催されている中、8名の方が参加されました。感謝申し上げます。認知症サポーター養成講座では、既にキャラバンメイトの資格を持っていますが、改めて学びなおしとなる良い機会となりました。その後の認知症医療センターの説明をさせていただき、質問も活発にありました。

15時以降のタッチパネル認知症簡易検査では、1名の方が検査をされ、また、相談窓口には1名の方が来られ、薬剤師の先生が対応されました。相談者の方は「お薬手帳をいつも所持されている」「複数の薬局から処方をしてもらっている」ということでした。

「複数の薬局」ということから、現在、国は「かかりつけ薬局」を推奨しています。2015年10月23日に厚生労働省から出された「患者のための薬局ビジョン」は、「医薬分業の原点に立ち返り、現在の薬局を患者本位の“かかりつけ薬局”に再編する」ことを目的として策定されました。また、日本薬剤師会は『現在、全国に約5万5,000の薬局があり、取り扱っている処方箋の枚数は年間約7億5,800万枚にもものぼります。処方箋を持って行けば、どの薬局でも薬を出してくれますが、顔なじみの薬剤師がいる「かかりつけ薬局」をもたれることをおすすめします。社会の高齢化が進み、お年寄りが複数の慢性疾患を抱えて複数の医療機関に通院している場合などに、同じ薬が重複して処方されてしまうケース(重複投薬)などが増えていますが、かかりつけ薬局は地域の薬の交通整理を行い、こうしたケースの解消に役立ちます。』(日本薬剤師会ホームページより抜粋)とあります。

今回、他の専門職の方の相談対応を拝見しましたが、良い学びの機会となりました。また、直方市立図書館は「認知症」に関する特設コーナーに引き続き、別の病気に関する特設コーナーを検討中のようです。個人的に次回の特設コーナーを楽しみにしています。

(葉室)